

機械器具 2 医療用照明器

一般医療機器 手術用照明器 (12282000) 特定保守管理医療機器(設置)

(一般医療機器 移動型診療用照明器 (36843000))

スカイルックス クリスタル シリーズ

SKYLUX CRYSTAL SERIES

【警告】

- 1) 術部以外の皮膚など同一箇所を長時間照らし続けないこと。[低温熱傷の恐れがある。]
- 2) 複数のライトヘッドから照射される光線が重なる場合は、各患者および術式に適応した照明を考慮すること。[術部の組織を乾燥させる恐れがある。]

【禁忌・禁止】

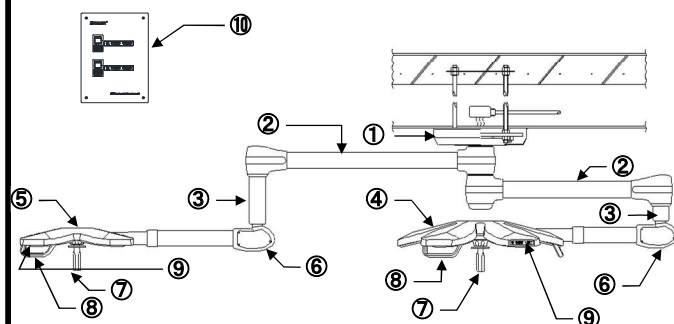
- 1) 手術用照明器の光を直視しないこと。
[使用者の眼が眩んだり、眼の組織を痛める場合がある。]
- 2) 眼科手術以外は患者の眼(眼球)を照射しないこと。
[患者の眼の組織を痛める場合がある。]
- 3) 高酸素濃度雰囲気及び可燃性麻酔ガスを含む引火性ガスが発生する場所や、熱源近くで使用しないこと。
[爆発又は火災の恐れがある。]
- 4) MRI 環境では使用しないこと
[故障、不測の動作する恐れがある。]
- 5) 当社もしくは当社が認めた者以外は修理しないこと。
絶対に分解・改造を行わないこと。
[故障する恐れがある。]

【形状・構造及び原理等】

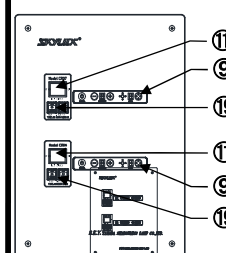
※※1.形状、構造及び原理等

本製品の形状、構造は以下のとおりである。

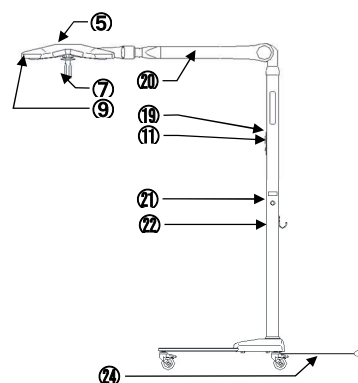
＜天井吊下げ型＞



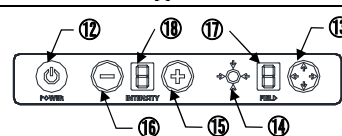
⑩ 壁面コントロールパネル図



＜スタンド型＞



⑨ 灯部コントロールパネル図



名称

- | | | |
|--------------|----------------------|--------------|
| ①天井カバー | ⑩壁面コントロールパネル | ⑬調光レベル表示部 |
| ②大回転アーム | 注 1) | ⑭ヒューズホルダ(両相) |
| ③VST | ⑪主電源スイッチ | ※※⑮スプリングアーム |
| ※※④灯部 | ⑫照明灯 ON/OFF スイッチ | ⑯ハンドル |
| CR(CRV)07B | ⑬光野(フィールド)拡大スイッチ | ⑰スタンド |
| ※※⑤灯部 | ⑭光野(フィールド)縮小スイッチ | ⑱電源プラグ |
| CR(CRV)04B | ⑮調光 Hi(+)/Low(-)スイッチ | |
| ⑥バランスカ | ⑯調光 Low(-)スイッチ | |
| ⑦滅菌ハンドル | ⑰光野(フィールド)レベル表示部 | |
| ⑧ハンドル | | |
| ⑨灯部コントロールパネル | | |

注 1): CRV タイプには、壁面コントロールパネルはありません。

取扱説明書を必ずご参照ください。

1. 基本仕様

Model No.	※※ CR(CRV)07B	※※ CR(CRV)04B	※※CR04BSC
使用光源	※※高演色 LED		
ユニット数	7(LED 数:126)	4(LED 数:72)	
照明方式	リフレクター方式		
入力定格電圧	AC100-240V 50/60Hz		
ヒューズ 定格	3.15A	2A	
中心照度	※※ 約 160,000lx	※※約 140,000lx	
色温度	4100±150K		
演色評価数	※※Ra:94		
照度調節	壁面コントロールパネル・灯部コントロールパネル 8 段階 (30～100%) 注1		灯部コントロールパネル 8 段階 (30～100%)
光野調節	壁面コントロールパネル・灯部コントロールパネル・ 滅菌ハンドル 8 段階		灯部コントロールパネル・滅菌ハンドル 8 段階
消費電力	※※90VA		※※70VA
重量	※※約 70kg	※※約 65kg	※※約 56.5kg

構成の詳細は取扱説明書「主要各部の名称」を参照すること。

※※2. 作動・動作原理

ランプヘッドにある光源から供給される光により作動し、リフレクター・他光学エレメントによって光を反射・制御し、適正な光を照射する。

※※【使用目的又は効果】

様々な深さや小さい切開部から、低コントラストの小さい物体を最良に可視化するために長時間にわたり局部を照明することを目的とする。

【使用方法等】

1. 使用環境

- 傾斜、振動および衝撃など安定状態に注意すること。
- 環境条件
温度 5~35℃ 湿度 30~70% ※※気圧 700~1060hPa

※※2. 使用方法

＜天井吊下げ型＞

- 点灯する。
手術室内に設置された壁面コントロールパネル上にある主電源スイッチを ON にする。
- 調光する。
壁面コントロールパネル上または、灯部コントロールパネルにある調光 Hi(+) スwitch・調光 Low(-)スウィッチを押して、明るさを調整する。
- 照明の方向と位置を適正に調整する。
照明の方向と位置を術者にとって都合の良い所に移動する。
- 光野(フィールド)調整する。
照射部位へ光野(フィールド)を移動した後に、必要に応じて滅菌ハンドルを回転させ、適正な光野(フィールド)にする。
- 消灯する。
手術室内に設置された壁面コントロールパネル上にある主電源スイッチを OFF にする。壁面コントロールパネル又は灯部コントロールパネルにある照明灯 ON/OFF スwitchで OFF にも出来る。

※照明灯 ON/OFF スwitchで OFF にして、再度照明灯 ON/OFF スwitchで ON にした場合、OFF 時の調光等の設定が再現される。
(主電源を OFF にした場合は、再現されない)

- 清掃する。
使用後、灯部外面の清掃を行う。

＜スタンド型＞

- 点灯する。
スタンドに設置されている電源スイッチを ON にする。
- 調光する。
灯部コントロールパネルにある調光 Hi(+)スウィッチ・調光 Low(-)スウィッチを押して、明るさを調整する。

- 照明の方向と位置を適正に調整する。
照明灯の方向と位置を診療する者にとって都合の良い位置に灯部を移動する。
- 光野(フィールド)調整する。
照射部位へ光野(フィールド)を移動した後に、必要に応じて滅菌ハンドルを回転させ、適正な光野(フィールド)にする。
- 消灯する。
スタンドに設置されている電源スイッチを OFF にする。灯部コントロールパネルにある照明灯 ON/OFF スwitchで OFF にも出来る。
・照明灯 ON/OFF スwitchで OFF にして、再度照明灯 ON/OFF スwitchで ON にした場合、OFF 時の調光等の設定が再現される。
(スタンド電源スイッチを OFF にした場合は、再現されない)
- 清掃する。
使用後、灯部外面の清掃を行う。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 高酸素濃度雰囲気及び可燃性麻酔ガスを含む引火性ガスが発生する場所で使用しないこと。
- 磁気の強い装置付近で使用しないこと。(MRI 等)
- 防水加工されていないため、液体がかからないようにすること。
- 使用する滅菌ハンドルが本製品に適合することを確認すること。
ハンドルの滅菌後及びハンドルの使用前にはひびや、割れ目がないことを必ず確認すること。
- 滅菌ハンドルはカチッとロックするところまでしっかりと装着すること。又、滅菌ハンドルの着脱は患者が下に居る場所で行わないこと。
- 照明の方向と位置を適正に調整する場合、他の機器類と衝突することのないよう、周囲に対して十分注意すること。
- 使用後は次回使用に備えて、取扱説明書「常時点検項目」にしたがって各部を点検すること。
- 故障または異常が発生したときは、その程度に応じ主電源スイッチを切って消灯するなど、速やかに適切かつ安全な措置を行うこと。詳細は取扱説明書「故障・異常の時の修理」を参照すること。
- すべての操作において無理な力をかけたり、急激な操作はしないこと。灯部を壁やその他の機器、他の灯部、アーム類にぶつけないこと。

※※10) 下記の消毒剤は使用しないこと。[本体が変形・破損する恐れがある。]

樹脂にクラックが発生した消毒剤名

・サラヤ環境清拭クロス、ステリハイド、デゴ- 51、リハルス SP

- アルコール・シンナーなどの溶剤を含んだ布で本製品を拭かないこと。
[樹脂の脆化を早めることがある。]

※＜相互作用(他の医薬品・医療機器との併用に関する事)＞

併用注意(併用に注意すること)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
電気メス 除細動器	別系統の電源を使用し、確実に接地を行い離れた位置で使用する。	電気メス、除細動器を同系統の電源で近距離で使用した場合、電磁波が発生し、本装置が誤作動を生じることがあるため。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

- 温度:-10~50℃ 湿度 20~70% ※※気圧 700~1060hPa
- 液体の被らない場所
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと

2. 耐用期間

指定の保守、点検並びに消耗品の交換を実施した場合の耐用期間 [出荷後の 10 年間[自己認証(当社データ)による。]

取扱説明書を必ずご参照ください。

3. 部品有効期間

部品名	交換時期
滅菌ハndl	オートクレーブ 300 回程度又は 納入後 3 年のどちらか早く達した時

※※・滅菌ハndlの滅菌はオートクレーブで行うこと。

※※・滅菌ハndlのオートクレーブ滅菌は 134℃以下で行うこと。

各温度の滅菌時間例: 121℃→20 分以下、134℃→7 分以下

※※・使用前に点検し、ひび割れ等劣化した滅菌ハndlは使用せず、新品へ交換すること。

【保守・点検に関する事項】

＜使用者による保守点検(日常点検)＞

1) 本製品を使用する際には取扱説明書「常時点検項目」と以下の項目を点検すること。

① 始業前点検

- ・塗装の損傷、灯部の前面カバー表面の傷やひび割れ、プラスチック部品の割れ、システム部品の変形や緩みや紛失など外観上の不具合がないことを確認する。
- ・アーム類と灯部が適切に動き、また止まることを確認。コントロールパネルの動作と異常のないことを確認する。
- ・灯部の ON/OFF と照度調節ができることを確認する。
- ・カメラやモニターの作動状況を確認する。
- ・滅菌ハndlが確実に取り付けられており、落下などの危険がないことを確認する。

② 終業後点検

- ・滅菌ハndlを取り外し、洗浄、滅菌する。
- ・コントロールパネルの確認、機器全体の汚れを清掃する。
- ・使用中に灯部やアーム類の衝突があった場合は、その箇所の損傷状況を確認する。

※※③ 清掃消毒

樹脂に影響がない薬剤名

(必ず希釈した溶剤を使用して、原液は使用しないこと。)

- ・除菌洗浄剤: S.K.Y.PRO(スカイプロ 加速化過酸化水素)
- ・消毒剤: ミルトン
- ・アルコールのような溶剤を含んだ布で清掃しないこと。

2) 故障または異常が発生した場合は、取扱説明書「故障・異常時の修理」及び「トラブルシューティング」を参照すること。

＜業者による保守点検事項＞

医療機器の保守点検は医療機器を使用する医療機関に義務付けられており、本装置の安全性を維持し、装置の性能を維持させるためには定期的な保守点検が必要となる。外部委託する場合は、当社もしくは当社が認めた者へ依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 山田医療照明株式会社 埼玉工場

取扱説明書を必ずご参照ください。